



6年生は、様々な教科でタブレット学習を取り入れています。今回は、その中のいくつかを紹介します。

◎国語「話し合って考えを深めよう」

コンセンサス(合意)ゲームを通して、「話し合うことで本当に考えが深まるのか」を学びました。子どもたちは、「月を脱出するために必要な品目の順位付け」を個人で行いました。その後、グループで話し合っって順位付けを行い、その結果をロイロノートでまとめて発表しました。

授業の終わりに「自分の順位付け」と「グループの順位付け」を比較しました。どちらがより正解に近いのかを確認したところ、8割の子どもが、グループの順位付けが正解に近いという結果になりました。話し合いの効果を体感することができました。



【発表の様子】

	グループの総順
マッチぼう	15
手巾	3
1.5mのナイロンロープ	9
パラシュート用の絹布	13
太陽熱利用の携帯暖房	12
ピストル2丁	14
粉末ミルク1ケース	11
4.5kgの酸素タンク2個	1
月の離陸用天体地図	4
自動でふくらむ救命ボート	8
方位磁石	5
20Lの水	2
照明弾	7
注射器の入った救急箱	10
太陽電池のFM送受信機	6

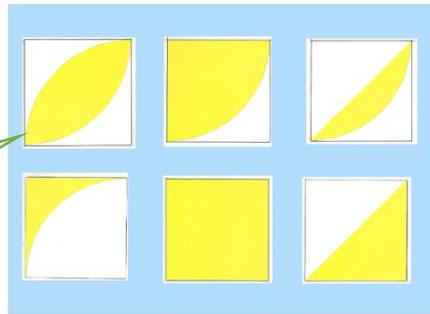
【グループの順位付け】

◎算数「円の面積」

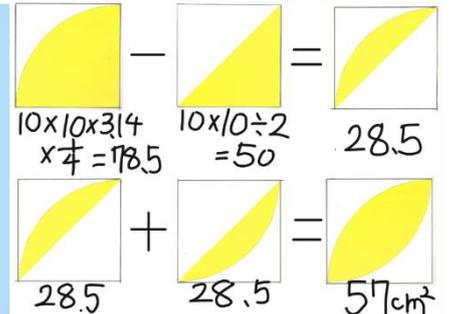
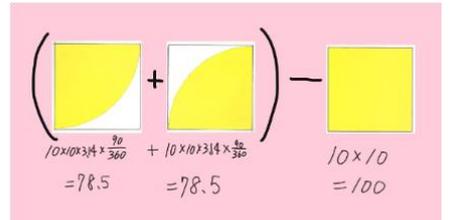
円の面積の求め方を学習した後、応用問題に取り組みました。色のついた部分の面積を求める学習において、子どもたちの様々な思考を視覚化して全員で共有するために、ロイロノートを活用しました。あらかじめいくつかの図形をロイロノートの資料箱に入れておき、子どもたちがそれらを活用しながら面積の求め方を表しました。

自力で面積を求めることができなかった子も、友達の色々な考え方をモニターで確認したことで、理解を深めることができました。

この図形の面積を求めたい!



【資料箱の図形】

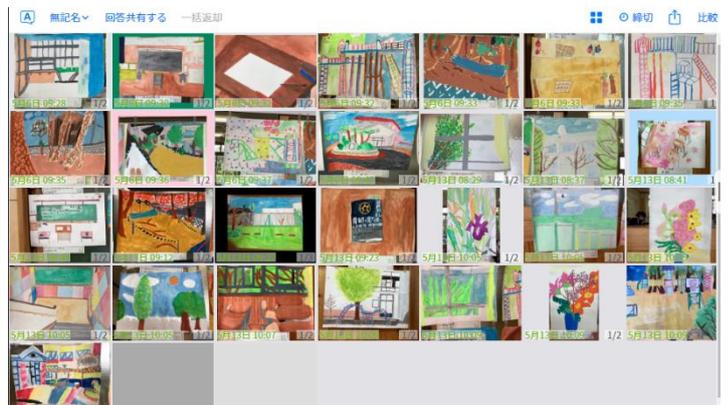


【子どもの思考】

◎図工「お気に入りの場所」

「お気に入りの場所」では、自分が気に入っている校内の場所の絵を描きました。タブレットを持って校内を回り、描きたい場所を見つけたら写真に撮ります。その後、教室で写真を見ながら絵の制作に取りかかりました。実物を見ながらその場所で絵を描くことの良さはもちろんありますが、写真に残して教室で制作することで、「天候に左右されずいつでも描ける」「他学年の授業の邪魔にならない」などの様々なメリットがあります。

図工の学習では、全ての単元で、子どもたちが制作した作品を写真に撮り、ロイロノートに提出しています。すてきな工夫をしている子の作品をモニターに映して共有したり、タブレットで作品を見ながら鑑賞会を行い、良かった点を送り合ったりしています。



【子どもの作品「お気に入りの場所」】

【校内情報教育部会より】
子どもたちの思考を視覚化し、共有できることがタブレットのよさの一つです。
タブレットを必要ときに、適切に使うことで、学習の目標を達成するための手段とすることができています。
今後も授業での活用を楽しみにしています。